

## 2022 年度活動報告

### はじめに

2023 年 5 月をもって、引退馬協会は設立から 13 期目を終了しました。支えてくださっている会員の皆さま、ご寄付やボランティアを通じてご支援いただいている皆さまに、心より御礼申し上げます。

2020 年度から続いた新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2022 年度も馬とのふれあいイベントやセミナーなども軒並み実施することができませんでしたが、フォスターホース（以下、FH）の見学については年度内に概ね正常化し、たくさんの方が FH の見学に訪れました。

各事業に関する詳細を以下に報告いたします。

### 1) 馬と人のふれあい事業

この事業は、FH の体験騎乗や、手入れ、ツアーなどでのふれあいを通じて馬の温もりに接し、馬という動物についてより知っていただき、親しんでいただくための、いわば引退馬協会の基幹となる活動のひとつです。

- ① 「FH と過ごす日」の開催
- ② 乗り方指導・馬の接し方講習会
- ③ 専門家を招いての指導

上記①～③は「FH と過ごす日」の開催に合わせて、馬の専門家を招いて馬への理解を深める活動を行っていますが、コロナ禍のため今年は「FH と過ごす日」を開催することができませんでした。少人数のご家族やグループでは年間で 100 名程度の方が馬たちに会いにきてくれました。イベントの実施はできませんでしたが、乗馬倶楽部イグレットの団体費は経費として発生しています。

- ④ 「引退競走馬の再就職支援プログラム」による安全に接することができる馬のリトレーニングの実施

再就職支援プログラムは、引退した競走馬に対し、人と穏やかに暮らすための馴致調教を行うプログラムです。人間に引かれてゆっくり歩くことができる練習や、乗馬としての常歩・速歩・駈歩を指示通りにできる基礎的な運動などを通して、おおよその馬の性格や能

力を把握し、それぞれの馬に適した場所へ譲渡することを目指しています。譲渡する馬と譲渡先とのミスマッチを防ぐために大変有効なプログラムと考え、継続して行っています。今年度は 34 歳のナイスネイチャ・バースデードネーションのご寄付により受け入れ頭数を大幅に増やしています。

	馬名	プログラム期間	調教施設	用途または譲渡先 (繋養先)
25 期生	トリップオブラブ	2020/8/5-継続中	福島県 厩舎みちくさ	未定
27 期生	ヴァーゲンザイル	2020/12/15- 2022/4/20	福島県 厩舎みちくさ	フォスターホース (厩舎みちくさ)
32 期生	タカラシップ	2022/4/1-継続中	千葉県 乗馬倶楽部イグレット	譲渡交渉中
33 期生	メイジン★	2022/5/3-2023/5/18	北海道 早来エクワインファーム	企業のふれあいホース (八ヶ岳ホースケア牧場)
34 期生	タッチスプリント★	2022/6/5-6/9 (永眠)	佐賀県 佐賀県馬術連盟	—
35 期生	ニットウイロन्दル ★	2022/7/10-継続中	北海道 ワタベリトレーニングファーム	未定
36 期生	マイネルユニブラン ★	2022/7/3-継続中	群馬県 かなやま森林馬事公苑	譲渡交渉中
37 期生	クリノダイスーシー ★	2022/7/25-継続中	千葉県 乗馬倶楽部イグレット	未定
38 期生	マイネルミシシッピ ★	2022/8/1-継続中	千葉県 乗馬倶楽部イグレット	未定
39 期生	ノーブルマーズ★	2022/9/6-継続中	千葉県 乗馬倶楽部イグレット	未定
40 期生	インカラム★	2022/10/6-継続中	千葉県 乗馬倶楽部イグレット	未定
41 期生	ヴァレンタイン★	2022/11/1-継続中	群馬県 New Hope Stables	未定
42 期生	ルナーレス★	2022/11/28-継続中	北海道 早来エクワインファーム	譲渡先交渉中
43 期生	ユキザクラ★	2023/1/11-継続中	群馬県 New Hope Stables	未定
44 期生	ロゼフェニックス★	2023/1/31-継続中	茨城県 ヴェルデファーム	未定
45 期生	シチリアノアガタ★	2023/2/17-継続中	群馬県 乗馬クラブアリス	未定

★：ナイスネイチャ 34 歳のバースデードネーション受け入れ対象馬

ナイスネイチャ 34 歳のバースデードネーションにより、2021 年度に入厩したメイジンに続いて 2022 年度は新たに 12 頭が入厩（うち、1 頭死亡）しました。

競走馬が引退時に身体に痛みを抱えていることがほとんどであることを考え、入厩前の療養時の預託料や医療費の助成を行いました。助成金額は合計 630,601 円でした。療養時の預託料の助成金の財源は、ナイスネイチャ 34 歳のバースデードネーション、医療費助成の財源は JRA の奨励金を充てています。

入厩前の状態を判断するために、馬主から提供されるレントゲン写真や診断は、JRA の医療相談を活用し回復の見込みを判断するためのセカンドオピニオンとして活用しています。

調教を同時進行するために、2022 年度より、新たにワタナベリトレーニングファーム（渡辺牧場の乗馬部門）、New Hope Stables、ヴェルデファーム、乗馬クラブアリスに調教を委託し、計 8 ヶ所で調教を同時進行しています。



譲渡前の面会時に手入れ指導

今年度、プログラムを卒業したのは 2 頭でした。33 期生のメイジンは、脚部不安から乗馬の道を断念しましたが、乗ることを目的としない企業のふれあいホースとして譲渡が成立しました。27 期生のヴァーゲンザイルは息労という呼吸器系の病気が見つかり、健康管理に手がかかることから譲渡が困難と判断、プログラムを卒業し、騎乗できる FH となりました。

2020 年度からの受講生、25 期生のトリップオブラブは、福島県に移動し、粗飼料中心・放牧中心

の生活に移行してから、徐々に疝痛防止の薬を減らし、最終的に断つことができ、譲渡先を募集中です。2021 年度からの受講生、32 期生タカラシップは譲渡先候補を調整中です。

34 期生のタッチスプリントは、入厩した日に疝痛を患い、4 日目に永眠しました（2021 年活動報告でも報告済）。35 期生のニットウイロンデルは順調に調教が進み、いつでも譲渡が可能です。36 期生のマイネルユニブランと 42 期生のルナーレスは譲渡交渉中です。

このほかに、クリノダイスーシー、マイネルミシシッピ、ノーブルマーズ、インカラム、ヴァレンタイン（チャノカオリの 2021）、ユキザクラ、ロゼフェニックスが入厩しています。診断書の上では問題ないとのことで入厩した馬も、入厩後に療養継続が必要だったケースも少なくなく、治療をしながらグラウンドワーク（騎乗をせずに、人と馬の信頼関係を構築する調教）を行っています。

##### ⑤ 「引退馬の眠る丘」プロジェクト準備

イーストスタッドから馬を引き取っているご縁で浦河町の谷川牧場の谷川様に相談したところ、町関係者や AERU に話を繋いでくださり、1 月に関係者が集まり、AERU に候

補地をしぼり、引退馬のためのメモリアル碑を作る方向で話が進みました。メモリアル碑は、亡くなった馬たちに手を合わせる場所として、馬の種類や出身地に関わらず、すべての馬がタテガミを納め名前を刻むことができる場所とすることを確認し、2024 年の完成に向けて取り組みます。完成の際は、これまでに亡くなったフォスターホースのタテガミもすべて納める予定です。

## 2) 啓発事業

年 4 回（季刊）発行している会報「RHA 通信」の他に、会の知名度を広め、引退馬についての関心を高めるため、インターネットでの情報発信や、写真展の開催など、さまざまな形での啓発活動を行っています。

### ① 引退馬に関する情報発信・各種広報活動

FH の近況や再就職支援プログラムの調教の様子、預託先情報の掲載などのホームページや SNS で発信しました。専任スタッフを入れることにより、より機動的に情報の発信ができるようになりました。

### ② 会報(RHA 通信)・活動報告書の発行と送付（印刷版・PDF 版）

正会員（一般会員・FP 会員）、後援会員と、賛同会員のうち会報購読を希望された方に季刊で年 4 回、「RHA 通信」を郵送、WEB 閲覧を希望した方へはメールで配信しました。

### ③ 啓発活動としての写真展等

実施しませんでした。

### ④ 馬に対する知識を深めるセミナーの実施

実施しませんでした。

### ⑤ 馬とのふれあいが人にもたらす効果を検証するイベントの実施

実施しませんでした。

### ⑥ ロゴマーク入りオリジナルグッズの制作販売

イベントの開催見送りで今年は直接販売をする機会がなく、オリジナルグッズの販売は、販売委託先のホースファクトリーの通信販売のみでした。ナイスネイチャ 35 歳・ナイスゴールド 25 歳の記念クリアファイルや、チケットホルダー、A5 サイズのクリアファイルなどの新作を発表しました。

また当初事業計画にはありませんでしたが、ナイスネイチャの 35 歳の誕生日を祝い、元

気な姿を伝える『35 歳おめでとう！フォスターホース ナイスネイチャ写真集』を出版しました。2022 年度は外注費や写真の二次使用の謝金等は発生していますが、印刷費や売上は 2023 年度に計上します。写真集は、ホースファクトリーのほか、Amazon や JRA の通販サイトや競馬場での販売を行いました。



35 歳を祝う写真集を出版

#### ⑦ ナイスネイチャ・バースデードネーション

今年も 2023 年 4 月 16 日のナイスネイチャの誕生日から 5 月 15 日までの 1 ヶ月間、「ナイスネイチャ・35 歳のバースデードネーション」として寄付キャンペーンを実施しました。「バースデードネーション」とは、誕生日プレゼントをもらう代わりに応援する団体への寄付をお願いするファンドレイジングの手法のひとつで、近年の SNS の普及によって広まってきました。

34 歳による再就職支援プログラムの支援枠がまだ十分あることから、7 回目となる今年度は、地方競馬の重賞勝ち馬の支援にもスポットを当て、繁殖の経験は問わず、重賞勝ちのある馬を受け入れ対象として寄付を募集したところ、21,622 名から総額 74,022,066 円のご寄付が集まり、継続寄付者も入れるとさらに増える予定です。

前回の支援者数 17,155 名から寄付金額 54,127,293 円だったことを考えると、寄付者数は前比で 126%、金額ベースでは 137%となっており、ナイスネイチャの 35 歳という長寿を祝う特別な年であったことも追い風となったことは確かですが、引退馬支援の寄付が定着してきたことを物語っていると思われまます。

※33 歳・34 歳・35 歳の 2022 年度の収支は p.17-18 に掲載しています。

#### ⑧ 牧場見学マナー啓発活動

今年度はコロナが第 5 類となり、見学もほとんどの施設で再開されたことから多くの方が馬産地を訪れるようになりました。ほとんどの方がマナーを守って見学をしているものの、まだ見学マナーが浸透していない方たちに向け、根気よく SNS やホームページ、会報での情報発信を地道に行っていく必要性を感じています。

マナーを知っていても、とりわけ協会の会員は馬が好きの方が多いため、触ってはいけないところでも馬から寄ってきたら無意識に手が伸びて触ってしまうケースがあります。そうしたときは意識して、馬から一步下がるようにしていただきますようお願いいたします。

### 3) 引退馬ネット事業

引退馬ネット事業は、引退馬協会による対外支援活動です。引退馬の引き取りに関する単発的な相談のほか、長期的にサポートを行っている馬を「サポートホース」(以下、SH) と呼び、長期的なサポートを行っています。

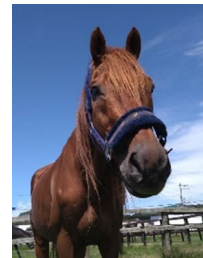
#### ① 馬の引取り相談

相談してくる方に、引き取り、預託先の紹介や繋養方法などについて適宜アドバイスしています。

#### ② SH 団体運営サポート

2 団体が新たに設立を承認され、既存 2 団体にそれぞれ SH1 頭が追加となりました。

また、2022 年度中に、荒木功労馬サポーターズのオリオンザサンクスが亡くなりました。享年 26 歳 (満年齢) でした。



オリオンザサンクス

#### ネガイちゃん・アシゲチャン引退繁殖牝馬の会 (新)



旧ネガイちゃんの会のメンバーが、ノーザンレイクの芦毛ちゃん改め、アシゲチャンを加え、新たな SH 団体「ネガイちゃん・アシゲチャン 引退繁殖牝馬の会」としてスタート。タッチデュールの母であるタッチノネガイとアシゲチャンの 2 頭が SH になりました。



タッチノネガイとアシゲチャン

#### マイティドリーム of the (新)



これまで鹿児島島のホーストラストに預託するための保証人として個人所有の SH だったマイティドリームが新たに SH 団体の SH として「マイティドリーム of the」に生まれ変わりました。たくさんの方に参加していただくことにより、安定してマイティドリームを支えています。



マイティドリーム



### マイネルディンプル・スプレモの会 (通称スピークラブ)



旧マイネルディンプル・サポータークラブに、マイネルディンプルの北海道時代からの相棒のマイネルスプレモが SH として新たに加わり、名称もマイネルディンプル・スプレモの会に改められました。



マイネルスプレモ

### 西条農業高校同窓会馬術部功労馬を応援する会



高校の馬術部の馬たちを最後まで自分たちの手で世話がしたいという画期的な理由から設立された団体です。卒業生であるか否かに関係なく、広く支援を呼びかけています。昨年は最高齢の馬術部の功労馬である道産子のマックを SH としてスタートし、新たにアングロアラブのムサシグリーン (競走名ムサシボウダンサー) が加わることになりました。



ムサシグリーン

2022 年度より (引退馬ネットの年度は 2022 年 5 月～2023 年 4 月)、サポート事務手数料が改定となりました。前年度までは実入金会費に対して、5% (学割は 2.5%) または 10% でしたが、一人が複数口入会するケースでは手数料金額が高くなることから、会員一人に対して月額 100 円 (学割 50 円) または 200 円に改定となりました。会費が未払いになった場合、今までは手数料はかかりませんでしたが、会費の督促に手間がかかることから、2022 年度からは未払いの場合でも手数料が発生します (ただし、正式に休会をしている場合はのぞく)。

JRA の奨励金を財源とした医療費助成は、全サポートホース (条件があります) を対象として、予防接種・駆虫代・健康診断を除き、サポートホース 1 頭あたり、年間 10 万円 (正式には 1 月～12 月の区切りで計算) となりました。2022 年度の医療費助成金の支給額は 515,766 円でした。助成制度は整歯も対象とし、若いときからの歯のケアを推奨しています。

### 2022 年度 サポートホースの異動

サポートホース	サポート対象団体	繋養先及び異動
オリオンザサンクス	荒木牧場功労馬サポーターズ	荒木牧場 2023 年 3 月 3 日永眠

タッチノネガイ (新)	ネガイちゃん・アシゲチャン引退繁殖牝馬の会	ノーザンレイク SH 団体設立
アシゲチャン (新) ※		
マイネルディンプル	マイネルディンプル・スプレモの会 (通称スピーククラブ)	繋養先非公表 2 頭目の SH の参加により、団体名 変更 (旧名:マイネルディンプル・サ ポータークラブ)
マイネルスプレモ (新)		
ムサシグリーン (新)	西条農業高校同窓会馬術部功労馬を応援する会	西条農業高校 2 頭目の SH 追加
マイティドリーム (変)	マイティドリームの会	NPO 法人ホーストラスト 個人所有の SH から、SH 団体へ変 更

※アシゲチャンは、芦毛ちゃん (仮) の新しい名前です。

#### 4) フォスターペアレント (FP) 事業

FH が終生穏やかで幸せに元気に暮らせるように支援していただく里親＝フォスターペアレント (以下、FP) 制度によって、FH たちを安定して繋養する、引退馬協会の基幹事業です。里親制度の運営、FH の預託など、FH に関わる事業はすべて FP 事業となります。

##### ① 引退馬の繋養を支える里親制度の運営

人気馬に支援が集中する傾向がありますが、口数の多い馬が、少ない馬を養う相互扶助の考え方を取り入れているため、均等に支援が集まらなくても運営上は問題ありません。しかしながら、極端な片寄りを防ぐために、1 口で全頭を支える被災馬 FP や、支援馬を特定しない FP を除き、80 口で受け付けを停止しています。

2022 年度は、8 月にタイキシャトル、5 月にナイスネイチャが死去、両頭とも FP 会員が多かったため、今後の影響が心配されます。

##### ② FH の繋養

#### 【2022 年度年中に受け入れた新規 FH】

馬名		繋養地	繋養先
セイクリムズン (永眠)	33 歳 BD	千葉県香取市	乗馬倶楽部イグレット (中継地)
ハギノハイブリッド	33 歳 BD	鹿児島県湧水町	NPO 法人ホーストラスト
モアザンベスト	33 歳 BD	北海道浦河町	渡辺牧場
デフィニット	33 歳 BD	青森県十和田市	小笠原牧場



メイショウボーラー	33 歳 BD	北海道日高町	ひだか・ホース・フレンズ
オオシマパンジー（永眠）	33 歳 BD	鹿児島県鹿屋市	長谷川牧場
ヴァーゲンザイル	再就職支援プログラムから	福島県南相馬市	厩舎みちくさ
フサイチバルドル	35 歳 BD	北海道新ひだか町	荒木牧場
テイエムプリキュア	33 歳 → 35 歳 BD	北海道浦河町	Calm days farm
タービランス	35 歳 BD	千葉県香取市	乗馬倶楽部イグレット
以下は 2023 年度			
（アサクサデンエン）	35 歳 BD	北海道南幌町	南幌ライディングパーク
（ザッツザブレンティ）	35 歳 BD	北海道南幌町	南幌ライディングパーク

33 歳のナイスネイチャ・バースデードネーションで 2021 年度に受け入れた最初の 12 頭に加え、新たにセイクリムズン、ハギノハイブリッド、モアザンベスト、デフィニット、メイショウボーラー、オオシマパンジーの 6 頭が FH として加わり計 18 頭となりました。当初テイエムプリキュアは 33 歳のバースデードネーション枠で考えていましたが、今後重賞馬を輩出した重賞未勝利の繁殖馬の受け入れが増えると予想されるため、35 歳の受け入れ対象馬と改めました。

ドネーションの際は、預託はホーストラストへ預けることを想定していますが、年齢や健康上の理由を考えると、ホーストラストへ移動できる馬はそれほど多くありません。受け入れられる頭数が減ったとしても、馬に無理のない預託先を考えていかざるを得ません。

ヴァーゲンザイルは、新規 FH では異色の存在です。再就職支援プログラムの項で説明した通り、飼養管理が困難なため、譲渡することを断念、FH となりました。

地方重賞を含む、重賞勝ち馬を受け入れ対象とした 35 歳のナイスネイチャ・バースデードネーション対象馬として、東北大学学友会乗馬部よりフサイチバルドルを受け入れました。

タービランスは当初、34 歳のナイスネイチャ・バースデードネーションの対象馬として再就職支援プログラムに入る予定でしたが、蹄骨骨折で療養中に 35 歳のバースデードネーションの対象馬の資格ができたことから、FH として受け入れることとなりました。

33 歳、35 歳のナイスネイチャ・バースデードネーション受け入れ対象馬は、一年間はそれぞれのドネーションの寄付の基金から、預託料や飼料費や馬着等の馬消耗品費、馬運代等を負担していきます。



セイクリムズン



ハギノハイブリッド



モアザンベスト



デフィニット



メイショウボーラー



オオシマパンジー



ヴァーゲンザイル



フサイチバルドル



テイエムプリキュア



ターピランス



アサクサデンエン  
(2023 年度)



ザッツザブレンティ  
(2023 年度)

### 【2022 年度の永眠馬】

馬名	享年 (満年齢)	没年月日	死亡理由
タイキシヤトル	28	2022 年 8 月 17 日	急性心不全
セイクリムズン	16	2022 年 12 月 12 日	輸送性肺炎
響輝 (ロードシンフォニー)	19	2022 年 12 月 17 日	骨折による安楽死
オオシマパンジー	21	2023 年 5 月 8 日	産褥性蹄葉炎悪化による安楽死
ナイスネイチャ	35	2023 年 5 月 30 日	起立不全による安楽死

2022 年度は、5 頭の馬との別れがありました。

8 月 17 日早朝、タイキシャトルが馬房にて亡くなっていました。急性心不全でした。JRA



タイキシャトル墓碑

顕彰馬だったことから全国の競馬場や WINS に献花台が置かれ、記帳が行われ、3 つの競馬場で追悼レースが開催されました。また、タイキシャトルのシンジケート解散時に、北海道新ひだか町の桜舞馬公苑（おうまいホースパーク）に墓碑を建立する費用を残してくれていたため、11 月 2 日に、関係者とタイキシャトルの FP 会員有志にご参列いただき納骨式を執り行いました。

桜舞馬公苑ではお供物や供花はその場で持ち帰っていただくのがルールですので、お参りの際はお守りい

ただきますようお願いいたします。

セイクリムズンは、鹿児島県の NPO 法人ホーストラストへ移動する途中、中継地の千葉の乗馬倶楽部イグレットに到着後、輸送熱を発症していることがわかり、その後輸送性肺炎となりました。

2 か月間懸命な治療と看護が続きましたが、12 月 12 日に永眠しました。抗生物質が大変効き辛い体質だったことが不運でした。

そのわずか 5 日後の 12 月 17 日には響輝（競走名ロードシンフォニー）が放牧中の事故により骨折、致命傷であったため苦痛を早く取り除くために安楽死の処置が取られました。響輝は乗る方のレベルに合わせて騎乗ができる馬として活躍してくれました。

重賞馬メイショウマッシュウの母として FH になったオオシマパンジーは、引き取りの相談があった時点で既に産褥性蹄葉炎を四肢に患い、当初から大変厳しいものでした。飼養管理により QOL を高めていくことを目指して受け入れましたが、残念ながら蹄葉炎の悪化により起立不能となり安楽死の処置となりました。FP 会員を募集する前に亡くなってしまったことが残念でなりません。

そして年度末の 5 月 30 日、長年当会の広報部長として貢献してきたナイスネイチャが体調を崩し、渡辺牧場の皆様や獣医師の諸先生方にはあらゆる手を尽くしていただきましたが、願いが叶わず永眠しました。土葬を行う関係で、翌日の 31 日に、渡辺牧場の墓地に埋葬し葬儀を執り行いました。

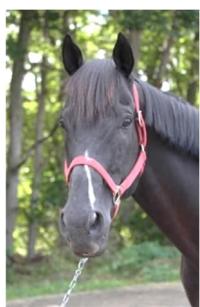


ナイスネイチャにたくさんの供花やお供物が

それぞれの馬をご支援いただきました FP 会員はじめ会員の皆様、日頃より愛情を注いで管理して下さった各預託先の皆様、獣医師の諸先生方に心より御礼申し上げます。



タイキシヤトル



セイクリムズン



響輝



オオシマバンジー



ナイスネイチャ

亡くなった 5 頭のうち 3 頭が安楽死でした。当会では、安楽死には必ず麻酔剤を事前に投与したもののみ安楽死と定義しています。馬の福祉の観点から、すでに 20 年以上前より事前の麻酔剤による意識喪失が推奨されているにも関わらず、経済性が優先され、麻酔を省いた薬殺に対して安楽死という言葉を使うことが見受けられ懸念しております。また、併用される鎮静剤を麻酔剤だと勘違いをしていることがあります。当会は麻酔剤による意識喪失の実践と普及のために情報を発信して参ります。

新規の受け入れ馬、物故馬のほか、元気に過ごしている FH についてもご報告申し上げます。北海道に繋養中の馬では、タイキフォーチュンは痩せてはいますが、餌の工夫により食欲も旺盛で元気になっています。1 月 1 日で馬齢 30 歳となり、高齢馬手当の対象馬となりました。

(高齢馬手当については後述します)。エアリカコは神経系と思われる脚部不安がありますが、仲良しのミラキュラス (SH) との放牧に復帰しています。メイショウドトウはタイキシ



特殊装蹄をするナイスゴールド

ヤトル亡きあと心配でしたが、のんびりマイペースに過ごしています。ナイスゴールドは蹄葉炎が進行していますが、特殊装蹄により痛みが緩和しています。マンダラはリードホースの役目が辛くなりつつあります。ノボキッスも昼夜放牧が年齢的に厳しくなってきたため、両頭は今秋の移動を模索しています。バトルプランは股関節や疝痛の不安があることから、ホーストラストへは移動せず仮預託先のひだか・ホース・フレンズから MTH ケイムズへ移動しました。ディープスカイ

は皮膚が弱いなどありますがマイペースで概ね元気です。メイショウサムソンは昨年 9 月腸ねん転の疑いで開腹手術を受けましたが、なんとか腸を切断せずに済み、その後脅威の回復力で元気になりました。オースミコスモは検査の結果クッシング病を示す ACTH の数値が高かったことからペリゴリドの服用を開始しました。エスワンスペクターは問題なく元気



に過ごしています。ダノンシャークは蹄が薄く痛みが出やすいことから特殊装蹄をし、痛みをコントロールしています。

千葉では、コアレスピューマが乗馬として成長しており、馬を引いて歩くリーディングでもよい先生の役割を果たしてくれますので、ふれあいイベントの再開に準備万端です。ルックトゥワイスは、乗馬としてはまだまだで、外では立ち上がったたりすることもあり、ステイゴールド産駒らしいやんちゃなところがある一方、変顔をして楽しませてくれます。新しく加わったクレスコブランドは移動して間もなく、慌てて食べて喉詰まりを起こしました。食いしん坊で早食いのため、ゆっくり食べる工夫をしています。

青森のタイキポーラはデフィニットという仲間ができ、体調も良さそうです。

鹿児島島のサマーナイトシティは、アサヒライジング亡きあと心配でしたが今は仲良しの馬もできました。ハギノハイブリッドは大きな放牧地に移動ボスになりましたが、怪我による運動制限のため厩舎のある放牧地に移動しました。

現在乗ることのできる FH は、コアレスピューマと新 FH のヴァーゲンザイルのみですが、レッスンや騎乗に関しては受益者負担をお願いし、預託先の乗馬クラブの収入としています。

30 歳以上の馬には引退馬協会独自の制度として、預託料とは別に高齢馬飼養管理手当（月額税込み 3 万円）を支給しています。2022 年度の対象馬は、ナイスネイチャと、1 月より馬齢 30 歳となったタイキフォーチュンでした。また、傷病管理は契約書上では預託料の範囲で牧場側に行っていただくことになっていますが、高齢馬管理手当の対象とならない馬でも、看護の負担が大きくなっていることが少なくありません。必要に応じて傷病看護手当を支給することが、2022 年 5 月の臨時理事会で決定しましたが、運用についてはまだ模索中でした。一部試験的に支給が開始になりましたので、2022 年度の開始にさかのぼって、該当する馬への支給をする予定です。

## ② FH に関わる情報発信と会員向け「FH リポート」の発行

FH に関わる情報発信として発行している FH リポートは、郵送での送付は FP 会員限定となりますが、WEB 購読の場合は会員ならどなたでも、ホームページの会員専用ページでご覧いただけます。これまで RHA 通信の発行月を除く年 8 回だったところを、できるだけ最新の情報を遅延なくお伝えできるように、専任の外注スタッフを入れ、RHA 通信の発行の有無に関わらず、年間 12 回の発行に変更になりました。会のホームページ内の近況報告ブログと Facebook, Twitter を連動させて、随時、各 FH の近況報告を発信することも引き続き行っています。

## ③ FH カレンダー制作販売

「2023 年 FH カレンダー」は欲しい方すべてのお手元に届くように 4,500 部制作しました。プロカメラマンの朝内大助氏に撮影していただき、好評をいただきました。

例年どおり FP 会員に会員特典として贈呈したほか、2022 年 10 月から一部 1,000 円で販売しました。発行部数を増やしたため、2022 年内完売とはいきませんでした。2 月からは 500 円でのセール販売を行い、残りもわずかとなりました。

2022 年の事業では 2023 年カレンダーの販売と並行して、2024 年カレンダーの撮影を行いました。カレンダーの売上は啓発事業収益に含まれています。また、無償配布分と収益事業（非営利）の売上分の経費管理のため、税務申告の都合上かかった費用の 50%のみカレンダーの経費とし、残りはプレゼント分のため「会員制度」として経費を計上しています。

#### ④ 被災馬 FH 預託

東日本大震災で被災したコッチャン（トーセンクレイジー）、ハーモニイトセチャン、ハーモニィフラを鹿児島県のホーストラストに、おにくん（ナイキプラネット）を福島県南相馬市の厩舎「みちくさ」に、コテツ（ルージュビクトリー）を福島県川内村の「みどりのまきば」黒澤牧場に被災馬 FH として預託しています。

被災馬 FH の預託にかかる経費は、2014 年度までは被災馬支援基金から支出していましたが、一時基金の残高が減少したため、2015 年度からは保証金や馬運代など一部の経費を除きフォスターペアレント事業として、被災馬 FP 会員からの会費を中心に支出しています。コテツについては、「被災馬コテツの会」からの寄付金の残金をコテツ基金として管理していましたが、632,785 円を使い切りました。

## 5) 協賛事業及び後援事業

2022 年度は実施しませんでした。

## 6) 上記 5 つの事業から派生するその他事業

### ①被災馬支援活動

#### (1) 被災馬の見守り

東日本大震災から 12 年が経ち、見守り中の被災馬 28 頭のうちの 1 頭、オハナが 8 月 17 日に永眠し、27 頭となりました。

被災馬への飼料支援、医療費支援は被災馬支援基金を財源とし、2022 年度は 117,003 円を支出しました。

### ②「次の馬生」支援活動

#### (1) ハッピーライフカバー配布

実施しませんでした。

- (2) 健康手帳貼り付けシールの作成  
実施しませんでした。

- (3) 協会からの譲渡馬見守り

かつて再就職支援プログラム等で引退馬協会が譲渡した馬の健康診断のため専門家を派遣して順次健康診断を実施しています。必要に応じてマッサージや飼養相談もおこなっています。再就職支援の譲渡馬に対して J R A の奨励金から医療費助成を新設し、傷病、整歯代等を助成しています。本事業において支給した助成金は、522,777 円でした。

また、2022 年度は、以前佐賀県馬術連盟に譲渡したヴァッラータを返還していただき、佐賀県馬術連盟の理事の「ともえ乗馬クラブ」へ再譲渡しました。

- (4) RCC 関連

「RRC-引退馬競走杯」は、全国乗馬倶楽部振興協会が、引退競走馬のセカンドキャリアを支援するため、引退競走馬所有奨励競技会として開催している馬術競技です。現地観戦をしましたが、経費の発生はありませんでした。

- (5) 助成金対象の種牡馬・繁殖馬支援

2021 年度にナイスネイチャ・33 歳のバースデーネーションで受け入れた 12 頭（うち 1 頭死亡）は 10 月以降順次経費負担を FP 事業に移行したため、年度末の時点では 6 頭の経費を功労繁殖馬基金より支出しました。（新 FH 関連は「フォスターペアレント事業」に掲載しています。）功労繁殖馬基金の残高 14,702,117 円は、2023 年度へ指定正味財産（用途の決められた資産）として繰り越します。

## ⑤ 根岸競馬場跡保存活動と協働による啓発活動

2022 年 10 月 2 日（日）、東京タワー メインデッキにて「旧根岸競馬場の保存と活用 ♪天翔ける馬&ハープとヴァイオリンのしらべ♪」が開催されました。

旧根岸競馬場保存活動の啓発イベントは継続して行っているもので、今回は昨年につき東京タワーでの共催コンサートとなりました。会場のメインデッキは地上 150 メートルの展望台。東京タワーの中ほどに張り出した八角形の部分です。



旧根岸競馬場について説明する沼田代表理事



共催団体の NPO 法人 歴史的建造物とまちづくりの会代表・三船康道さんによるご挨拶と、沼田恭子代表理事による旧根岸競馬場の解説があり、ハープ奏者の八木健一さん、鍵盤楽器奏者の八木ゆみ子さん、ヴァイオリン奏者の土井真実さんも登場。「草競馬」「駅馬車」「ララミー牧場」など馬にちなんだ曲が、ヴァイオリンとハープの繊細な音とシンセサイザーの多彩な音色で奏でられました。

演奏後、貴重な展示資料をまとめられた JIA 神奈川の笠井三義さんが建築家としての視点から旧根岸競馬場の魅力について語られ、最後に東京都登録有形文化財建造物所有者の会の渡辺俊司さんをご挨拶。45 分ほどのイベントを 2 回開催しました。

## 6) その他の事業（営利事業）

2022 年度は実施しませんでした。

## 2023 年度に向けて

繁殖を引退するシーズンになり、33 歳や 35 歳のナイスネイチャ・バースデードネーション対象の受け入れについての問い合わせが増えています。たくさんの方にご協力いただいた基金を有効に、使途を明朗に使って参ります。また、2022 年度に迎えた再就職支援プログラムの受講生たちが卒業できるよう、譲渡先候補とのマッチングを進めます。

偉大な広報部長ナイスネイチャ亡きあと、今後のバースデードネーションをどのように開催していくかも大きな課題です。運営委員の皆様にもご意見を伺いながら方針を決めていきます。

秋以降のふれあいイベントの企画、ホースメッセ等他団体主催のイベントの参加等予定していますので、皆様のご協力を仰ぐ機会も増えそうです。

新規 FH の受け入れに伴う会員管理業務や増加する一方、業務内容に対して十分なスタッフの増員が出来ていない状態です。外注スタッフの手を借りつつ、新職員の採用に向けて取り組んで参ります。

引き続き、活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

## ナイスネイチャ 33 歳のバースデードネーション収支報告

(単位:円)

収入		支出	
前年度繰越金	27,264,636	預託料	7,836,100
寄付	30,000	飼料費	1,181,090
		装蹄料	443,300
		馬医療費	2,015,990
		馬運代	521,900
		馬消耗品費	564,899
		振込手数料	5,940
		雑費	23,300
合計	27,294,636	合計	12,592,519
		次年度繰越金	14,702,117
		(内、プール金)	12,000,000

## ナイスネイチャ 34 歳のバースデードネーション収支報告

(単位:円)

収入		支出	
前年度繰越金	39,465,783	預託料	12,006,219
寄付	16,637,454	飼料費	309,980
		装蹄料	630,345
		馬医療費	1,418,119
		馬運代	176,000
		馬消耗品費	261,573
		振込手数料	9,520
		支払助成金	630,601
		雑費	23,130
合計	56,103,237	合計	15,466,412
		次年度繰越金	40,636,825
		(内、プール金)	5,100,000

※クラウドファンディング決済手数料 1,965,097 円は、2023 年度に指定正味財産より振り替えます。

## ナイスネイチャ 35 歳のバースデーネーション収支報告

(単位：円)

収入		支出	
寄付	54,805,782		0
		次年度繰越金	54,805,782

※クラウドファンディング決済手数料6,618,267円は、2023年度に指定正味財産より振り替えます。